



WITH A WILL

ウィズ ア ウィル

2018 新春
Vol.35

春日部中央総合病院

病院理念

愛し愛される病院

基本方針

- 求められる医療の実践
24時間、より早く安心安全な診療
- 地域連携推進
地域に密着した医療の提供
- 医療人としての質の向上
医療人の自覚と技術向上への教育

ごあいさつ

院長 松田 実

明けましておめでとうございます。

お陰様で春日部中央総合病院も平和な平成30年を迎えることができました。近隣在住の皆様、施設、開業の先生方に厚く御礼申し上げます。

さて昨年は東アジア、殊に朝鮮半島情勢が不安定で一触即発の雰囲気がありました。世界も日本も春日部も平和であり続けてくれることを祈るばかりです。

今年も当院では地域の皆様の健康維持のため、急患の受け入れ、日常診療の充実に努めて参ります。

今後とも春日部中央総合病院をよろしくお願いいたします。



お薬はコップ1杯の水やぬるま湯で飲みましょう!



この言葉、みなさんも聞いたことがあると思います。
正しくお薬を飲んでもらえるよう
やってはいけない飲み方と一緒に紹介します。

Q どうして「コップ1杯」なの?

A 少量の水では、薬がのどや食道に張り付いて炎症や潰瘍を起こすことがあります。
※医師から水分摂取の制限を指示されている方は、その指示に従った飲み方をして下さい。

Q 「水やぬるま湯」以外で飲むと、どんなことが起こるの?

A 飲み合わせが悪いと、薬の効果が十分に得られなかったり、反対に薬が効きすぎてしまったりすることがあります。

例 1

カルシウム拮抗薬（高血圧の薬の一種）と グレープフルーツジュース

グレープフルーツに含まれる成分が、薬を分解する酵素の働きをブロック。薬が効き過ぎて、血圧が下がりすぎてしまうことがあります。



例 2

風邪薬とアルコール

アルコールが風邪薬の働きを過剰に増強させ、さらに眠気などの副作用を強くする可能性があります。



例 3

一部の抗菌薬と牛乳

カルシウムと薬が結合し、キレートと呼ばれる体に取り込まれにくいかたまりになってしまう場合があります。そのため、薬の効果が弱められてしまいます。



例 4

鉄剤とお茶・コーヒー

鉄の成分が、お茶やコーヒーに含まれるタンニンという成分と結合し、鉄の吸収が妨げられ、効果が弱くなってしまうことがあります。



これらの例の他にも、薬との飲み合わせが悪い
食品・飲料はたくさんあります。

正しい方法で薬を飲まないことによって、
思わぬ健康被害に遭う危険性があります。

全ての薬が、水やぬるま湯以外で服用できないわけではありませんが、
日頃から「お薬は、コップ1杯の水やぬるま湯で飲む」という
正しい習慣をつけるようにしましょう!

知っておきたい薬の知識：厚生労働省 日本薬剤師会
http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/d_health/dl/2013_panf.pdf

薬とアルコールの相互作用：北海道薬剤師会
<http://www.doyaku.or.jp/guidance/data/H21-1.pdf>

低温やけどに ご注意ください!

「低温やけど」について

- 44℃の場合 ▶ 3～4 時間
- 46℃の場合 ▶ 30 分～1 時間
- 50℃の場合 ▶ 2～3 分間



このように長時間にわたり同じ部分に接触していると、発症する可能性がある事がこれまでの研究で分かっています。

「低温やけど」が生じやすい部位は?

「くるぶし」、「スネ」、「額」など皮膚の薄いところだと言われています。こういった場所は暖房器具が皮膚を圧迫した時に血流が悪くなり、更に皮膚に加わった熱は血流の流れで拡散されるはずが、圧迫されていることにより熱がこもり「低温やけど」を起こしやすくなると言われています。



暖房器具を正しく、安全に使用してこの寒い冬を快適に過ごしましょう!

寒さが続くこの時期に皆様は使い捨てカイロや電気あんかなどを使用していますか?

この時に注意したいのが、「低温やけど」です。比較的低温でも、同じ場所を長時間温め続けると、皮膚に水膨れや赤みが生じてしまう事があります。

「低温やけど」を引き起こす可能性がある暖房器具は?

- 湯たんぽ
- 使い捨てカイロ
- 電気あんか
- 電気毛布



冬場は以上のような暖房器具を使用する際には十分注意しましょう!!

「低温やけど」対策

低温やけどの対策として、暖房器具は長時間直接体に当てないことが基本となります。

湯たんぽは、専用の袋もしくは、タオルに包んで脇や足の間に挟んで使いましょう。就寝時には布団から出しましょう。

電気あんかや電気毛布を就寝時に使用する際には、布団を温める為だけに使用し電源は就寝前に切りましょう。

使い捨てカイロも同様ではありますが、携帯して使用ができる大変便利な暖房器具です。上記で述べたことを参考に十分に注意して使用しましょう。



春日部ロイヤルケアセンター

春日部ロイヤルケアセンターは、要介護の高齢者やその家族のために総合的ケアサービスを提供して、出来るだけ早く家庭復帰ができるよう支援致します。介護老人保健施設の役割は、病状が安定している高齢者の方で介護・看護を必要とする方に、医師の管理のもと、介護・看護・身体機能の回復訓練を提供し、家庭や地域社会との結びつきを維持しながら支援することを考えています。

入所だけでなく、短期入所(ショートステイ)や、ご家庭から通っていただく通所リハビリテーションなども行っております。ご利用のご相談は、支援相談員までお気軽にご相談ください。



〈春日部ロイヤルケアセンター〉
TEL: 048-733-5771



春日部中央総合病院 訪問看護ステーション

皆様や皆様のご家族が病院や施設から戻られるにあたり、心配事や不安に思っていることはありませんか? また、ご自宅に戻られたあとにどのような生活を送りたいとお考えでしょうか?

訪問看護ステーションでは、看護師と作業療法士が週に数回、皆様のご自宅へ伺い生活をサポート致します。皆様の様々な不安やご希望に寄り添い、その方らしい生活が送れるようお手伝いを致します。

必要性が認められた方はどなたでもご利用になれますので、医療福祉相談室や、訪問看護ステーションまでご相談ください。

〈春日部中央総合病院〉
● 医療福祉相談室
TEL: 048-736-1458
● 訪問看護ステーション
TEL: 048-733-0633



医療公開講座のお知らせ

当院では毎月「医療公開講座」を開催しています。

病気、お薬、食事、運動、医療費など、様々な内容で少しでもみなさまのお役に立ちたいという
思いから情報発信しています。

今後も下記の日程・内容で講座を行いますので、みなさまふるってご参加ください。

日 付	内 容	講 師	場 所
平成30年 1月17日(水) 15:20~16:00	健康をかんがえる ～風邪予防!免疫力を高めよう!!～	栄養科 高橋 千遥	春日部中央公民館
平成30年 1月23日(火) 15:00~16:00	動脈硬化症 ～放っておくと恐ろしいことに…～	循環器科部長 松井 朗裕 医師	ふれあいキューブ
平成30年 1月26日(金) 15:00~16:00	おくすり、きちんと飲めてますか?	薬剤部 相良 克海	春日部中央総合病院
平成30年 2月21日(水) 15:20~16:00	未 定	栄養科	春日部中央公民館
平成30年 2月27日(火) 15:00~16:00	未 定	検査科	春日部中央総合病院



参加の申し込みは、総合受付または地域医療連携室へお声掛けいただくか
こちらの番号へお問い合わせ下さい。

春日部中央総合病院 地域医療連携室
TEL 048-736-1221 (代表)



IMS グループからのお知らせ

医療・介護のことでお悩みはありませんか？

イムス総合サービスセンター(イムスGSセンター)は、病院選びに困った際にご利用いただける病院相談窓口です。
皆さまからの医療・介護のご相談をお受けいたしますので、
お電話かホームページ(メールフォーム)よりお問い合わせください

〈受付時間〉平日 / 8:30 ~ 17:30 土曜日 / 8:30 ~ 12:30
(日祝・年末年始休み)



イムスに
0800-800-1632

メールでも病院受診相談をお受けしています。右メールフォームをご利用ください。



イムス総合サービスセンターのサービス内容や、IMS グループの最新情報を WEB サイトでご覧いただけます。

<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-21-11 オーク池袋ビルディング 9F

IMS グループ 医療法人財団 明理会

春日部中央総合病院

〒344-0063 埼玉県春日部市緑町5丁目9番4号

TEL:048-736-1221 FAX:048-738-1559

<http://www.kasukabechuo.com>

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
皆様、年末年始はどのようにお過ごしになりましたでしょうか。ご機嫌うるわしく、新年をお迎えのことと存じます。
今年も皆様にとって実りある年になることをお祈りしております。寒さが厳しき折、お風邪などをお召しになりませんようにお気をつけください。
本年も春日部中央総合病院をよろしく願い申し上げます。

認定施設

厚生労働省臨床研修指定病院／日本医療機能評価機構認定病院／日本内科学会認定医制度教育関連施設／日本循環器学会認定循環器専門医研修施設／日本清血管インターベンション治療学会研修施設／日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設／腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設／胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設／日本外科学会外科専門医制度修練施設／日本消化器外科学会専門医制度修練施設／日本整形外科学会専門医研修施設／日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練施設／日本泌尿器科学会認定専門医教育施設／日本透析医学会専門医制度教育関連施設／日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設／日本麻酔科学会麻酔科認定病院／看護大学・専門学校実習病院